

# トヨタ東京自動車大学校 全国から250人集い同窓会総会 旧交温め母校の発展願う

に日本自動車学校を開校。同46年に現在地に移転、全国初の2年制2級自動車整備士コースを設置した。平成14年から1級整備士の養成に乗り出し、同18年に1級自動車整備士4年課程を新設した。「技術を磨け、そして人間性も」を教育スロガンに掲げ、これまで約2万5千人の卒業生を輩出している。

5年ごとに開催される同窓会総会には、約250人が出席し、旧交を温めた。青森、新潟、鹿児島など遠方からの参加者も。会場には歴史を刻むエンジンニアウエアやアルバムが展示され、恩師や旧友との再会に終始盛り上がりを見せていた。

スマート社会のエンジンニアを養成する専門学校トヨタ東京自動車大学校（松浪良樹校長）の「第5回同窓会総会」が7月11日、八王子市館町の同校で開かれた。同校は昭和29年、立川市

総会に先立って同窓会名誉会長で同校の松浪校長があいさつ。松浪校長は学校の現状について語り、入学希望者の紹介や各地域における同窓会活動の活性化を



総会に先立ちあいさつする松浪良樹校長

促した上で「皆さんに続く後輩と母校発展のために力添えをお願いしたい」と呼びかけた。

総会では役員改選、会則改定、決算報告を承認したあと、同校の現状や地域連携の取り組み、イベントなどが映像で紹介された。

続く懇親会では、旧友同士で思い出話に花を咲かせた。ステージでは同窓生を代表して、出席者の中で最古参となる昭和33年卒の小出隆夫氏と、同48年卒で全国初の2級自動車整備士コ

ース、第一期1組1番の朝岡善紀氏がスピーチ。和歌山から参加した朝岡氏は「八王子は四半世紀ぶり。立派な校舎になり、再び勉強したくなった。素晴らしい友と先生に恵まれ、好きな自動車について学ぶことができ、とても充実した学生生活だった」と当時を懐かしんでいた。

終了後、新設したスマートモビリティ棟や多目的広場、西キャンパスなどの見学も行われ、出席者は最新設備に目を見張っていた。